

不尽ふじんを詠よめる歌うた

山部やまべ赤あか人ひと

天地あめつちの分わかかれし時ときゆ神かみさびて

高たかく貴ととき駿河すまがなる富ふ士じの高たか嶺ねを

天あまの原はらふりさけ見みれば

渡わたる日ひの影かげもかくろい照てる月つきの光ひかりも見みえず

白しろくも雲もい行ゆきはばかり時ときじくぞ雪ゆきは降ふりける

語かたりつぎ言いひつぎ行ゆかむ 富ふ士じの高たか嶺ねは

田た子ごの浦うらゆ打うち出いでて見みれば真ま白しろにぞ

富ふ士じの高たか嶺ねに雪ゆきは降ふりける

田た子ごの浦うらゆ打うち出いでて見みれば真ま白しろにぞ

富ふ士じの高たか嶺ねに雪ゆきは降ふりける